

特定の師匠に師事すること無く、書・篆刻・料理・絵画・染色・漆芸・造園など、あらゆる芸術分野に挑み、類まれなる才能を発揮された北大路魯山人。なかでも陶芸作品は、魯山人芸術の集大成として、高い評価を得ています。

本展では陶芸作品から書や絵画にいたるまで一堂に展覧いたします。「美食」を追求した独特の料理美学からなる魯山人芸術の数々を心ゆくまでご堪能下さい。

●北大路 魯山人 略歴

明治16(1883)年 京都上賀茂神社 社家 北大路清操の次男として生まれる。本名〈房次郎〉

明治43(1910)年 朝鮮へ行き、書画、篆刻を学ぶ

大正元(1912)年 帰国後、濡額制作に打ち込み〈福田大観〉と号す

大正8(1919)年 東京京橋に「大雅堂芸術店」開店、翌年「大雅堂美術店」に改称

大正14(1925)年 赤坂山王 日枝神社境内にて「星岡茶寮」を開く
北大路魯山人第1回習作展を開催(書、陶磁器等)

昭和2(1927)年 神奈川県鎌倉にて「魯山人窯芸研究所 星岡窯」設立

昭和21(1946)年 銀座に自作直売店「火土火土美房」開設

昭和30(1955)年 織部焼にて人間国宝の指定を受けるが辞退する

昭和34(1959)年 逝去

没後55年 北大路魯山人展



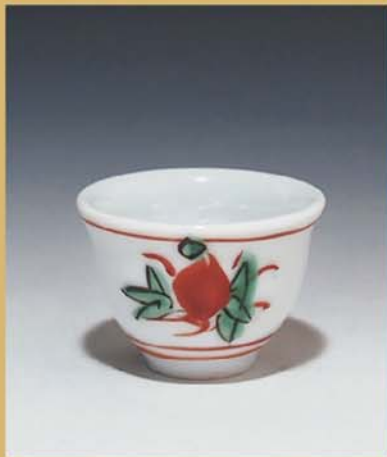
①



②



③



④



⑤

ギャラリートーク

八木康夫氏(株式会社江戸屋美術 代表取締役社長)

日時 1月25日(土) 15:00より(約30分)

会場 阪急うめだ本店 9階

阪急うめだギャラリー

※事前申込不要、参加費無料



Hankyu

阪急うめだ本店

〒530-8350
大阪市北区角田町8番7号
電話(06)6361-1381

- ① 備前 ツツ 花入(万里清風) 共箱 径12.6×高23.2cm
- ② 織部釉 平鉢 共箱 径28.0×高7.9cm
- ③ 備前 火変 徳里 共箱 径7.4×高12.4cm
- ④ あかごす 酒のみ 共箱 径5.0×高3.6cm
- ⑤ 慈姑 幅 共箱 縦33.5×横41.9cm